

令和7年度宮城県企業向け心のサポーター養成研修の開催について

宮城県が主催する「令和7年度企業向け心のサポーター養成研修」についてお知らせします。

本研修は、こころの不調や精神疾患について正しく理解し、家族や友人など身近な人に対して、傾聴を中心とした支援ができる「心のサポーター」の養成を目的とした研修です。

本県では、令和6年度から「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に力を入れており、本研修をその取組の柱として、令和15年度までに「心のサポーター」2万人の養成を目指しています。

今年度は、県内企業の衛生管理者等を対象に、独立行政法人労働者健康安全機構宮城産業保健総合支援センターとの共催による研修を計4回予定しています。

研修をとおして、こころの不調の早期発見やサポートのための知識を習得し、働く世代のメンタルヘルス対策や企業の健康経営につながることを期待されます。

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムとは

精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、普及啓発などが包括的に確保されたシステム。

厚生労働省では、高齢者の地域包括ケアシステムと同様に、精神障害や精神保健に関する課題を抱えている方にとっても、安心して暮らせる地域をつくるため、日常生活圏域を基本として、市町村などの基礎自治体を基盤とする整備を進めています。

■ 日 時

第1回：令和7年9月11日（木）午後2時から午後4時30分まで

■ 場 所

SS30 8階会議室（宮城県仙台市青葉区中央4丁目6-1）

■ 主 催

宮城県保健福祉部精神保健推進室

■ 共 催

独立行政法人労働者健康安全機構 宮城産業保健総合支援センター

■ 参加者

県内企業の衛生管理者、衛生推進者、安全衛生推進者、人事労務担当者等 41名

■ 内 容

- (1) 講義・グループワーク「こころのサポーターの紹介、こころの病気の実際、こころの病気からの回復、こころをサポートする方法など」〔90分〕
- (2) 講義「こころの病気について学ぶ」〔30分〕

■ 講 師

日本精神科看護協会宮城県支部 顧問（心のサポーター指導者） 小松容子 氏

■ 受講認定証等の交付

- 所定の研修を修了した受講者には、県から「受講認定証」、「ここサポリング」及び「ここサポステッカー」（下記参照）を交付します。
- 心のサポーターの認知度を高め、身近に相談できる人がいることを示す目印として、「ここサポリング」（受講者に身につけていただく）と「ここサポステッカー」（各事業所や施設等に掲示していただく）を今後活用していただきたいと思います。

①「ここサポリング」



②「ここサポステッカー」（マグネットタイプ）



■ 今後の研修日程

	開催日	時間	申込締切日
第2回	令和7年10月16日（木）	午後2時から午後4時30分まで （受付：午後1時30分から）	9月25日（木）
第3回	令和7年11月13日（木）		10月23日（木）
第4回	令和8年1月22日（木）		12月25日（木）

※講師は各回により異なりますが、内容は同じです。詳細は、ホームページを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/seihosui/kigyoukokosapo.html>（県ホームページへリンク）

■ 留意事項

本研修の資料等については、厚生労働省により無断転載が禁じられているため、カメラ等による撮影及び録音は、開会から講義冒頭の「指導者の自己紹介」までとさせていただきます（「指導者の自己紹介」以降の講義・グループワークの撮影及び録音はできませんので、あらかじめ御了承願います。）。